

濃飛横断自動車道(中津川工区)鳥類対策検討会
第4回 議事録(要旨)

開催日：平成27年5月14日(木)

参加者一覧

出席者	安藤 辰夫 大塚 之稔 西條 好迪	(一財)自然学総合研究所技術顧問 日本野鳥の会岐阜代表 (一財)自然学総合研究所所長
事務局	田中 弘治 八代 貴守 塚田 晃大 伊藤 量崇 西岡 幸宏 山内 誠 他2名	恵那土木事務所 副所長 恵那土木事務所道路建設課濃飛横断自動車道建設係長 恵那土木事務所道路建設課道路建設係技術主査 恵那土木事務所道路建設課道路建設係技師 岐阜県都市政策課技術課長補佐 岐阜県道路建設課主任技師 大日本コンサルタント株式会社

濃飛横断自動車道(中津川工区)鳥類対策検討部会 議事録(要旨)

議題	発言者	番号	意見の主旨	当日の回答
1. 現地調査結果について				
	検討会委員	1	千旦林北地区及び岩屋堂地区の樹林は、営巣木近傍の限られた範囲において営巣環境が整っており、オオタカが農作業やカラスに対し脅威を抱くこともないと判断できるため、営巣環境として適していると考えられる。	秋季の植生調査で、林内環境の確認を行う。
	検討会委員	2	千旦林南地区は、過去の営巣木の東側に広く樹林が分布しているため、オオタカが営巣環境を移せる可能性が十分にある。	秋季の植生調査で、林内環境の確認を行う。
	検討会委員	3	ひょうたん池南側の樹林は、ひょうたん池の釣り人、農作業者が、オオタカに対して脅威にならないければ、営巣環境として機能する可能性がある。	秋季の植生調査で、林内環境の確認を行う。また、休日におけるひょうたん池の釣り人の状況を確認する。
	検討会委員	4	星ヶ見公園周辺からひょうたん池の西側の南側樹林は、落葉広葉樹が優占し、生育するアカマツも低木で枯死が目立つことから、オオタカの営巣環境としては適さない。	—
	検討会委員	5	旧ため池の南側樹林は、カラスが多く生息しているため、オオタカの営巣環境としては適さない。	—
	検討会委員	6	岩屋堂地区営巣木の東側に分布する樹林は、樹林の樹冠が道路や住居など人間の目線よりも下に位置しているため、オオタカが好んで営巣する環境ではない可能性がある。	—
2. 第3回検討会意見の取りまとめについて				
	検討会委員	7	トラツグミについては、6月のオオタカ調査時にさえずり等が確認されない場合、その後の調査で繁殖状況を追跡する必要はない。	6月のオオタカ調査に、トラツグミのさえずり等の確認に努める。
3. オオタカの繁殖期における6月の現地調査について				
	検討会委員	8	6月におけるオオタカの繁殖状況の確認については、営巣木の直下まで入る必要はないと思われる。営巣林に入り、営巣木の方向から幼鳥の鳴き声が聞こえれば、繁殖に成功したと判断できる。	6月の繁殖状況調査時には、営巣木の直下には入らず、幼鳥の鳴き声から、繁殖状況を判断する。
4. 今後の検討会の実施時期について				
	事務局	-	本日の現地調査結果及び議事要旨、ご指摘を踏まえた今後の対応について、後日確認させていただく。次回検討会は、県の現地調査終了後に予定する。今後の予定については、後日各委員に案内する。	—
5. その他(オオタカの繁殖期におけるその他の現地調査実施について)				
	検討会委員	9	早春季～春季のオオタカ繁殖期に営巣林周辺の動植物調査を実施する際は、オオタカに配慮して、営巣木から200m以内の範囲には立ち入らず、十分注意して調査すること。	いただいたご意見を参考にします。
※現地調査のため、本回の総括は作成しない				